第３節　商　　業

第１款　目　標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

第２款　各　科　目

第１　ビジネス基礎

１　目　標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２　内　容

１に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 商業の学習とビジネス

ア　商業を学ぶ重要性と学び方

イ　ビジネスの役割

ウ　ビジネスの動向・課題

(2) ビジネスに対する心構え

ア　信頼関係の構築

イ　コミュニケーションの基礎

ウ　情報の入手と活用

(3) 経済と流通

ア　経済の基本概念

イ　流通の役割

ウ　流通を支える活動

(4) 取引とビジネス計算

ア　売買取引と代金決済

イ　ビジネス計算の方法

(5) 企業活動

ア　企業の形態と組織

イ　マーケティングの重要性と流れ

ウ　資金調達

エ　財務諸表の役割

オ　企業活動に対する税

カ　雇用

(6) 身近な地域のビジネス

ア　身近な地域の課題

イ　身近な地域のビジネスの動向

３　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　商業教育全般の導入として基礎的な内容を扱うとともに，基本的な用語については，英語表記に慣れ親しむことができるよう留意して指導すること。

イ　各種メディアの情報を活用するなどして経済社会の動向を捉える学習活動を通して，ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

ウ　〔指導項目〕の(1)及び(2)については，(3)から(6)までの項目を指導する前に扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)のイについては，生徒の実態に応じて適切な計算用具を活用することができること。なお，計算用具を活用する際には，